

【タッチフリーSI 使用時の注意事項】

【通過証明・計時システム】

SPORTIdent 社のタッチフリー専用のカード (SIAC) を使用します。コントロール (右の写真) に設置するステーションは従来と同じ穴の開いたステーションを使用します。

【パンチ方法】

タッチフリーでは SIAC をステーションから静的には 50cm 以内に近づければ、SIAC が光と音を約 3 秒間発生してパンチが完了します。通常の差込パンチはステーションが音と光を発生するので、この点が大きく異なります。50cm は通過スピードが速くなると短くなります。何人かで同時にパンチしたときは、音が聞こえても、他人のパンチの音の場合もあるので、自分の SIAC の音か光を確認するのが最も確実です。

【反応がない場合】

- ① SIAC をステーションに差込んでパンチを行ってください。
- ② それでも反応しない場合はピンパンチでリザーブ欄にパンチし、フィニッシュ後に役員に申し出てください。

【スタート前に】

SIAC は電池を内蔵しています。その電池の電圧が低下すると、正常な動作ができません。レンタル SIAC の場合は主催者が事前に電池のチェックを行いますが、マイ SIAC の場合には主催者が用意する Battery test ユニット (右図) でチェックを行ってください。OK が表示されれば競技に使用できます。会場とスタートでタッチフリーの試しが出来ます。

【SIAC の電源 ON/OFF】

SIAC は内蔵の電池の消耗を防ぐために保管状態では電池 OFF になっています。タッチフリーは ON 状態でしか動作しません。SIAC はクリア後のチェックで ON になり、フィニッシュで OFF になります。ON 状態では、SIAC 先端にある非常に小さな緑色の LED が 10 秒に 1 回光るので確認してください。**電源 ON を確認するのは競技者の責任です。**

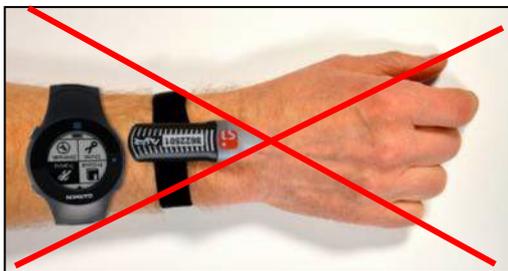
競技途中でフィニッシュの近くは絶対に通らないでください。 SIAC をいったん OFF 状態にしてしまうと、それ以降タッチフリーステーションは一切反応しなくなります。ただしこの場合でも穴のあるステーションの場合は、穴に差し込めばタッチフリーではない従来の使用モードでパンチができます。競技者がフィニッシュの近くを通ったことが原因で SIAC の電源が OFF になった場合、それに起因する事項については競技者の責任になります。

【フィニッシュ】

フィニッシュには、コントロールと同様のステーションを用いたパンチングフィニッシュと、走り抜けタイプのフィニッシュの 2 種類があります。**SIAC が OFF の状態で走り抜けフィニッシュを通過した場合はフィニッシュ時間が記録できないので失格になる可能性があります。**

【SIAC と GPS 時計】

GPS 時計のアンテナが SIAC の感度を大きく低下させるので、SIAC と GPS 時計は同じ腕に取り付けしないでください。下記の写真はアームベルトを使った例ですが、指でも同じです。



ここが光る

